

NY マーケットレポート (2017 年 6 月 8 日)

NY 市場では、ドラギ ECB 総裁が定例会見で大規模な金融緩和策を継続する姿勢を示したことを受けてユーロが下落となり、これにつれてドル円・クロス円も序盤からやや軟調な動きとなった。その後は、米国債利回りの上昇を背景に、日米の金利差拡大が意識され、円売りが優勢となる場面もあった。しかし、英国の総選挙の結果などを見極めたいとの様子ムードも広がっており、上値の重い動きが続いた。

注目されたコミー前 FBI 長官の議会証言では、米大統領選の干渉疑惑に関する新たな情報が示されなかったことから、やや反応は限定的となった。また、ECB が政策金利の据え置きと金融政策の現状維持を発表する一方、2019 年までのインフレ見通しが下方修正されたことに反応し、上値の重い動きが続いた。

そして、英国総選挙の投票締め切りと同時に公表された出口調査では、与党保守党が過半数に達しないとの調査結果を受けて、英ポンドは主要通貨に対して大きく下落した。

2017年 6月8日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.76	110.01	109.39
EUR/JPY	123.59	123.79	123.16
GBP/JPY	142.37	142.59	141.75
AUD/JPY	82.85	82.98	82.58
EUR/USD	1.1260	1.1269	1.1248

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.19	109.76
EUR/JPY	124.01	123.47
GBP/JPY	142.50	142.29
AUD/JPY	83.17	82.85
EUR/USD	1.1264	1.1218

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.97	110.38	109.86
EUR/JPY	123.32	123.91	123.26
GBP/JPY	142.40	142.78	141.92
AUD/JPY	83.00	83.21	82.92
NZD/JPY	79.33	79.56	79.28
EUR/USD	1.1215	1.1250	1.1195
AUD/USD	0.7547	0.7550	0.7530

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21182.53	+8.84
S&P500	2433.79	+0.65
NASDAQ	6321.77	+24.39
日経225 (CME)	20000	+45
トロント総合	15423.09	+50.95
ボルサ指数	49087.46	-187.51
ボベスパ指数	62755.57	-415.16

6/9 経済指標スケジュール

08:50 【日本】5月マネースtockM3
 10:30 【オーストラリア】4月投資貸付
 10:30 【オーストラリア】4月住宅ローン約定件数
 10:30 【中国】5月生産者物価指数
 10:30 【中国】5月消費者物価指数
 13:30 【日本】4月第三次産業活動指数
 15:00 【ドイツ】4月貿易収支
 15:00 【ドイツ】1Q労働コスト
 15:00 【ドイツ】4月経常収支
 15:00 【ノルウェー】5月消費者物価指数
 15:00 【ノルウェー】5月生産者物価指数
 15:45 【フランス】4月財政収支
 15:45 【フランス】4月製造業生産指数
 15:45 【フランス】4月鉱工業生産
 16:30 【スウェーデン】4月個人消費
 17:30 【英国】4月製造業生産指数
 17:30 【英国】4月商品貿易収支
 17:30 【英国】4月鉱工業生産
 21:00 【英国】5月NIESR GDP予想
 21:30 【カナダ】5月失業率
 21:30 【カナダ】5月雇用ネット変化率
 22:00 【メキシコ】4月鉱工業生産
 22:00 【メキシコ】4月製造業生産
 23:00 【米国】4月卸売在庫
 23:00 【米国】4月卸売売上高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1279.50	-13.70
NY 原油	45.64	-0.08
CME コーン	385.75	+1.00
CBOT 大豆	938.00	+7.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.318%	1.310%
3年債	1.459%	1.448%
5年債	1.752%	1.738%
7年債	1.998%	1.986%
10年債	2.190%	2.176%
30年債	2.851%	2.838%

ドイツ10年債	0.256%	0.269%
英国 10年債	1.033%	1.001%

6/9 主要会議・講演・その他予定

・フランス国民議会選挙 1回目 (11日)

NY 市場レポート

20 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

欧州主要政策金利 0.00% (予想 0.00%・前回 0.00%)
 欧州限界貸出金利 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)
 欧州中銀預金金利 -0.40% (予想 -0.40%・前回 -0.40%)



出所 : Bloomberg

20 : 50

ECB 声明

- ・「金利引き下げを示唆するガイダンスを削除」
- ・「金利は長期にわたり現行水準を維持する見込み」
- ・「量的緩和は 12 月まで継続、必要に応じて延長」

21 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

5 月カナダ住宅着工件数 19.47 万件 (予想 20.20 万件・前回 21.35 万件)

前回発表の 21.41 万件から 21.35 万件に修正



出所 : Bloomberg

21 : 30

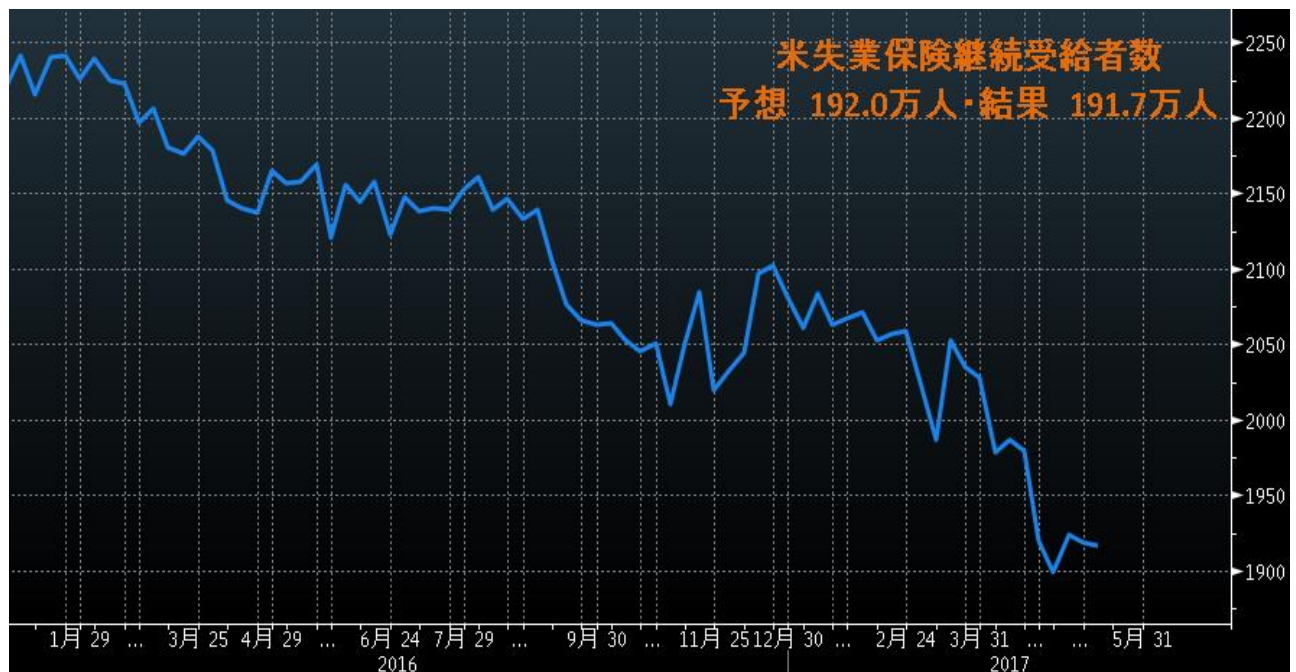
◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 24.5 万件（予想 24.0 万件・前回 25.5 万件）
 前回発表の 24.8 万件から 25.5 万件に修正

米失業保険継続受給者数 191.7 万人（予想 192.0 万人・前回 191.9 万人）
 前回発表の 191.5 万件から 191.9 万件に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	・	前週比	・	4 週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
17/06/03	245,000	・	-10,000	・	242,000	・	1,917,000	・	1.4%
17/05/27	255,000	・	+20,000	・	239,750	・	1,919,000	・	1.4%
17/05/20	235,000	・	-3,000	・	241,000	・	1,924,000	・	1.4%
17/05/13	233,000	・	-2,000	・	243,500	・	1,899,000	・	1.4%
17/05/06	238,000	・	-19,000	・	243,000	・	1,920,000	・	1.4%
17/04/29	257,000	・	+14,000	・	242,250	・	1,979,000	・	1.4%
17/04/22	243,000	・	+9,000	・	242,750	・	1,987,000	・	1.4%
17/04/15	234,000	・	-1,000	・	247,250	・	1,978,000	・	1.4%
17/04/08	235,000	・	-24,000	・	250,250	・	2,028,000	・	1.5%

受給者数は集計が1週間遅れる

《 経済指標のポイント 》

米失業保険申請件数は、市場予想の24万件を上回る前週比-1.0万件の24.5万件となり、3週ぶりに減少した。申請件数の4週移動平均は、前週比+2250件の24.2万件となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-0.2万件の191.7万人となり、2週連続で減少した。受給者総数の4週移動平均は、前週比-750人の191万4750人となり、1974年1月12日までの週以来の低水準となった。受給者比率は、前週比から変わらず1.4%だった。

21:30

《 経済指標の結果 》

4月カナダ新築住宅価格指数（前月比） 0.8%（予想 0.2%・前回 0.2%）

4月カナダ新築住宅価格指数（前年比） 3.9%（予想 3.3%・前回 3.3%）



出所：Bloomberg

21 : 30

◀ 要人発言 ▶

ドラギ ECB 総裁

- ・「成長へのリスク評価を上方修正」
- ・「基調的なインフレ圧力は、引き続き低調」
- ・「極めて大規模な緩和が必要」
- ・「政策委員会で反対の声は聞かなかった」
- ・「QE (量的緩和) の先行きについて、いつ発表すべきかは議論しなかった」
- ・「ガイダンス変更はデフレリスクがなくなったため」
- ・「ECB は、必要なら依然として金利を引き下げること可能」

21 : 35

- ・「ECB、2017-2019 年の成長見通しを引き上げ」
- ・「ECB、2017-2019 年のインフレ予測を下方修正、2019 年は 1.6%」

ユーロ-米ドル, 1分足, #100



06/08/17
出所 : Net Dania

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月メキシコ消費者物価指数(前月比) -0.12% (予想 -0.13%・前回 0.12%)

5月メキシコ消費者物価指数(前年比) 6.16% (予想 6.16%・前回 5.82%)



出所 : Bloomberg

23 : 45

◀ 要人発言 ▶

コミーFBI 前長官

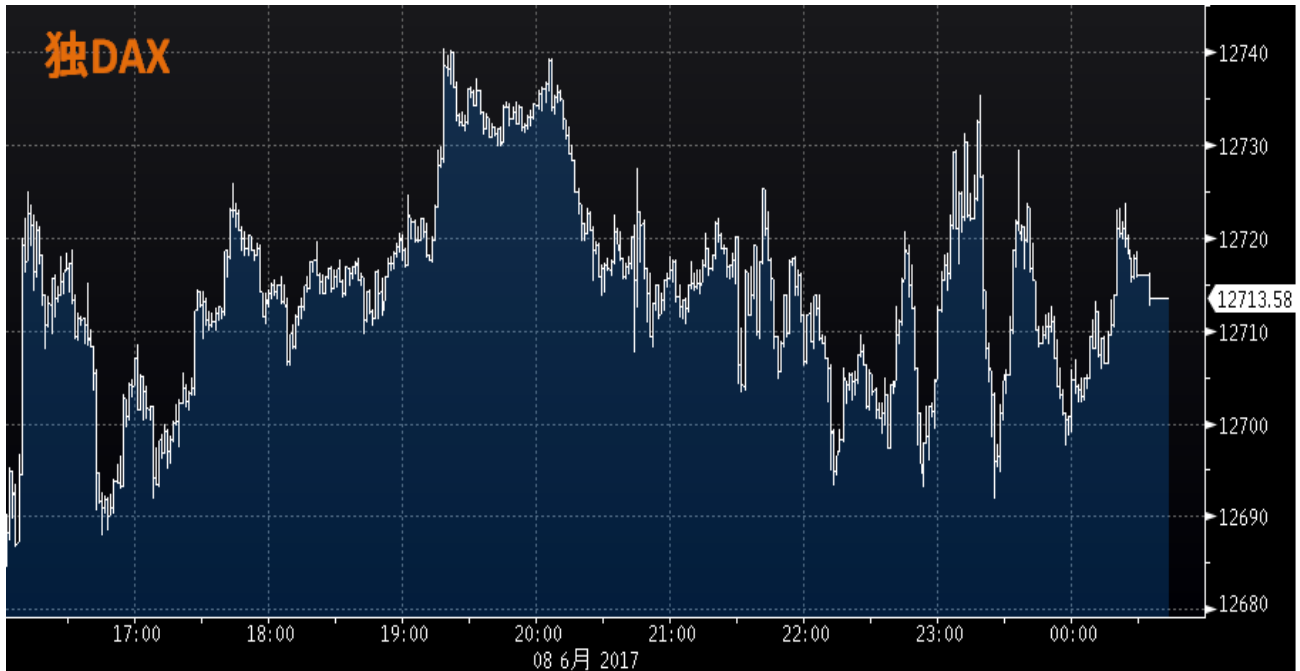
- ・「記録を残したのはトランプ大統領がうそをつくことを懸念したから」
- ・「FBI 在任中、トランプ氏は捜査対象ではなかった」
- ・「トランプ大統領はフリン氏の捜査中止を命令しなかった」
- ・「フリン氏に関する大統領の言葉を指示と受け止めた」
- ・「トランプ氏が妨害を試みたかについては、述べる立場にない」
- ・「トランプ大統領はロシアについての捜査を止めるよう要請しなかった」

◀ 欧州のポイント ▶

ドラギ ECB 総裁は、ユーロ圏の経済見通しに対するリスクは「おおむね均衡している」とし、従来の「リスクは下向き」の文言から変更した。ただ、インフレはなお抑制されているとも述べた。文言変更は、足元のユーロ圏の回復加速を反映したもので、ECB が大規模な金融緩和からの出口に向け、地ならしをしていると受け止められる公算が大きい。これに先立ち、ECB は追加利下げの可能性に関する文言を削除している。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 指数は、英総選挙の結果発表を前に買いが手控えられた。一方、独 DAX 指数は、ECB 総裁が現行の大規模な金融緩和策を継続する姿勢を示したことを受けて、堅調な動きとなった。



出所：Bloomberg

2 : 55

《 要人発言 》

黒田日銀総裁～英オックスフォード大学での講演原稿

- ・「物価安定目標の達成には、なお距離がある」
- ・「すでにデフレではなくなっている」
- ・「政策は日本経済を正しい方向に導くもの」

3 : 10

《 要人発言 》

トランプ氏弁護士

- ・「大統領は忠誠を期待するとコミー氏に述べていない」
- ・「コミー氏は、特権で得た情報をリークしたことを認めた」
- ・「大統領は完全に潔白が証明されたと感じている」

3 : 35

《 要人発言 》

黒田日銀総裁～英オックスフォード大学での講演

- ・「量的・質的緩和は狙い通りの効果、企業利益は改善」
- ・「日本経済は、今年と来年は 1.5%程度の成長に」
- ・「労働市場は引き続き改善へ」
- ・「個人消費は期待したほど強くない」
- ・「為替レートの変動を引き続きモニターしていく」
- ・「日銀は為替レートの安定を目的に政策を運営しない」

<< NY 金市場 >>

NY 金は、中心限月が前日比 13.70 ドル安の 1 オンス=1279.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ECB がインフレ見通しを下方修正したことからユーロ安ドル高が進み、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。



出所：Bloomberg

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、中心限月が前日比 0.08 ドル安の 1 バレル=45.64 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、前日発表された米石油統計で原油在庫が予想外に増加したことが引き続き材料視された。ただ、原油生産量の減少を背景に、買い戻しも入っており、もみ合いの展開が続いた。終値ベースでは、5月上旬以来約 1 ヶ月ぶりの安値となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、コミーFBI 前長官による議会証言の内容を見極めようと積極的な取引が手控えられ、序盤から小動きの展開が続いた。その後、堅調な動きが見られたものの、終盤にはマイナス圏に下げる場面もあった。ダウ平均株価は、一時前日比 92 ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新した。ただ、その後は上げ幅を縮小する動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の債券利回りが上昇したことで、日米の金利差が拡大するとの思惑から円売りドル買いが先行し、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、その後は英国の総選挙の結果などを見極めたいとの様子ムードも広がり、上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。